

西宮市立中央病院の 跡地にかかる地域懇談会

(第4回資料)

令和4年1月13日

西宮市立中央病院

本日の説明事項

①跡地活用検討進捗報告

- ・これまでの経過概要
- ・現時点での跡地活用方針の公表
- ・今後のスケジュール（予定）
- ・事業者選定に関する他事例の紹介

②統合新病院の基本設計の概要

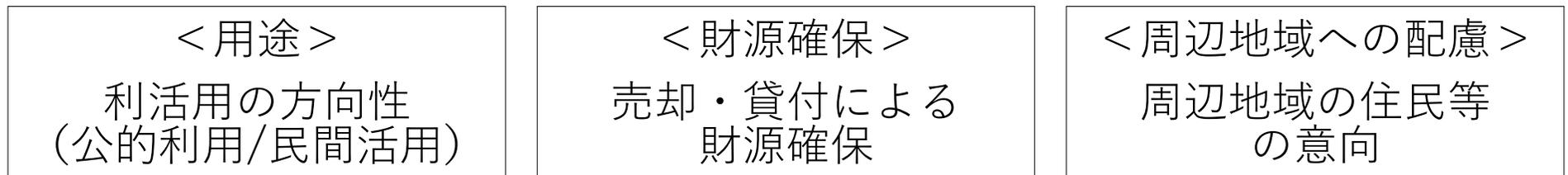
■ 検討体制

- ・ 市役所内の検討組織として「跡地活用検討委員会」を設置（H31.3月）
- ・ 地域懇談会や民間事業者と意見交換を行い「資産の有効活用を考えるうえでの3つの視点※」をふまえた活用方針を検討

< 検討体制イメージ >



※資産の有効活用を考えるうえでの3つの視点
(西宮市未利用地の利活用に関する方針(H28.3月策定))



■ 基本方針の策定（R1年度）

- ・ 有効な活用方法の検討

▶ 公的ニーズの整理(H31.3月)
▶ サウンディング型市場調査実施(R1.7月)

R2.2月公表

跡地活用の基本方針

「資産の有効活用を前提として、民間医療機関の誘致を中心に検討」

- ・ 中央病院閉院に伴い地域の医療環境に及ぼす影響把握

▶ 現在の入院、外来患者の状況の整理
▶ 統合新病院に継承されない機能の整理
▶ 地域懇談会開催(R1.10月)

跡地活用検討委員会

地域の意見、収益性、行政課題の解消等の視点から議論

■ 民間医療機関の誘致検討（R2年度以降）

R2.3月～8月

民間医療機関への意向調査(ヒアリング)

R2.10月

サウンディング型市場調査(民間事業者との意見交換)

R3.12月

市議会へ跡地活用検討進捗報告

■ 現時点での方針（R3.12.10 市議会へ報告）

- ・ 現時点では、民間医療機関の誘致を進めていくことが適当であると跡地活用検討委員会で合意
- ・ 民間医療機関との意見交換を通して、一定の地代を負担し、跡地での医療展開を具体的に検討している事業者の意向を確認
- ・ 周辺の教育環境や用途地域の制限で、大規模な分譲マンションや大型の商業施設での活用が困難であるが、現時点では、民間医療機関の誘致においても、商業施設の誘致と比較して遜色のない地代収入を確保できる可能性があると考えている
- ・ 敷地全てを医療で活用することは現実的ではなく、残地の有効活用について引き続き検討
- ・ 跡地活用検討委員会では、有効活用を検討するうえで、収益面だけではなく、行政課題の解消に資する活用も視野に入れて検討

■ 質問と答弁の概要

質問概要	答弁概要
地代水準が一定額を確保できない場合、医療機関の誘致の方針はどうか。	「資産の有効活用を前提に」検討しており、地代水準が一定額を確保できない場合はこの方針(医療誘致)は採れないと考える。
残地に関して「行政課題の解消に資する活用も視野に入れて検討」しているということか。	お見込みのとおり。収益面だけではなく、市の抱える課題を解消できるような活用方法についても検討している。
本件のスケジュールは中央病院の閉院までのスケジュールと関係していると思うが、具体的に示されていない。遅滞のないよう進めてほしい。	中央病院の閉院は統合新病院の開院と同時時期で、R7年度下期の予定。その時点で跡地活用事業者の選定が終わっていることが望ましい。全体の活用方針が決まった段階でスケジュールも含めて示したい。
市として最大限収入確保に努めること。	十分留意して進めたい。

- ・本館敷地部分(約10,000㎡)の一部について、資産の有効活用を前提として、民間医療機関の誘致を進める
- ・残地の活用方法について、収益面だけではなく行政課題の解消に資する活用も視野に入れて検討を継続



- ・R4年度上期を目途に、残地を含めた跡地全体の活用計画を公表予定



■ 今後のスケジュール

R3.12月

民間医療機関誘致の方針公表



～R4.9月末

残地活用計画公表



募集要項作成



事業者の募集及び選定

→ 次回の地域懇談会は、残地活用計画の公表時に開催予定

統合新病院の基本設計の概要

(R3年11月公表)

■ 名称

西宮総合医療センター（仮称）

■ 外観イメージ



■ 新病院の基本方針

阪神圏域

- ・ 高齢者人口の増加に伴い、医療需要(呼吸器・循環器系)や高齢者の救急患者が増加
- ・ 旧阪神南圏域に高度急性期・急性期病院が集中、旧阪神北圏域では不足
- ・ 隣接圏域も含め人口集中地域を形成していることなどから、多数の新型コロナウイルス感染症陽性患者を確認

現病院

- ・ 心臓血管外科、精神科等の診療科未設置のため、一部救急患者への対応不可(県立)
- ・ ヘリポート無(県立・市立)
- ・ 救命救急センター等の浸水対策要(県立)
- ・ 施設老朽化(市立)
- ・ 感染症対応の設計がなされていない(県立・市立)



〈基本方針〉

- ・ 高度急性期・急性期医療の提供
- ・ 先進医療への対応
- ・ AI・ICTの活用
- ・ 災害に強い病院
- ・ 救命救急センターとしての役割
- ・ 感染症対応機能の充実・強化
- ・ 医療従事者の育成拠点
- ・ 安定した経営基盤の確立

■ 診療規模

- ・ 病床数 552床（一般病床544床、精神病床8床）
- ・ 診療科目 35診療科

下線太字：新設

内科系 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、**脳神経内科**、糖尿病・内分泌代謝内科、血液内科、腫瘍内科、リウマチ内科

外科系 外科、呼吸器外科、**心臓血管外科**、乳腺外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、歯科口腔外科

その他専門 皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、**精神科**、麻酔科、産婦人科、小児科、臨床検査科、ペインクリニック内科、ペインクリニック外科

■ 整備計画

- ・ 整備場所 西宮市津門大塚町（アサヒビール西宮工場跡地）

- ・ 敷地面積 26,000㎡

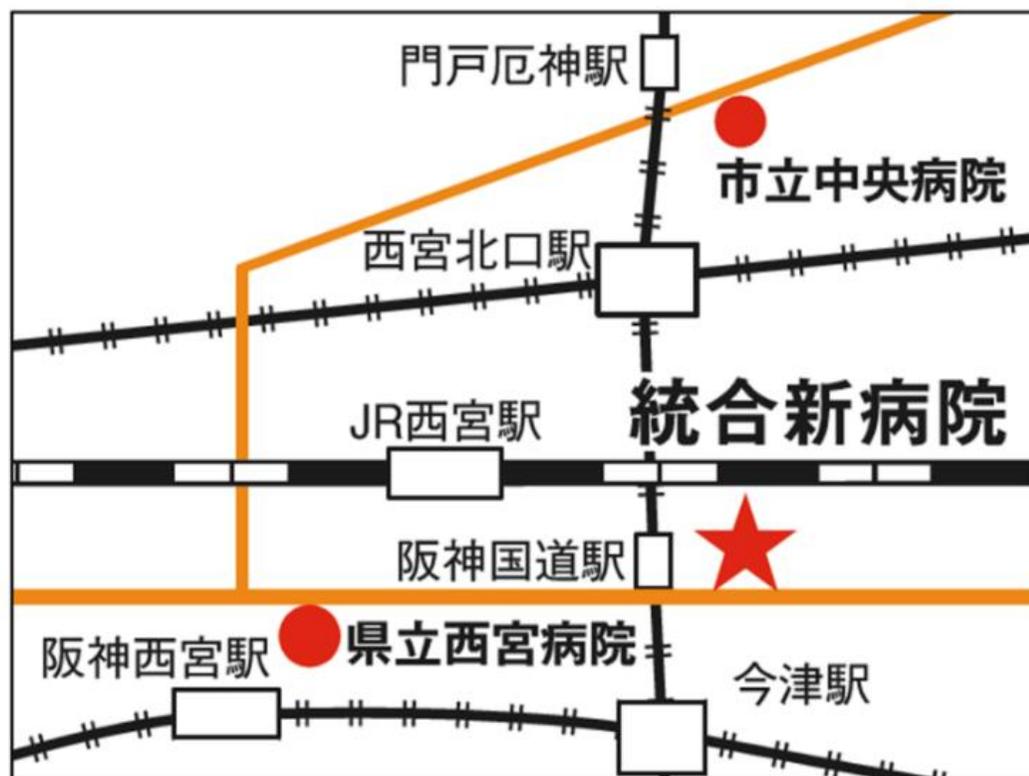
- ・ 構造等

① 病院棟

- ・ 鉄骨造（免震構造）
- ・ 地上11階、屋上ヘリポート
- ・ 延床面積 54,555㎡
- ・ 高さ 53.5m

② 放射線治療棟

- ・ 鉄筋コンクリート造（耐震構造）
- ・ 地上3階
- ・ 延床面積 1,228㎡
- ・ 高さ 14.7m



統合新病院基本設計の概要について⑤

